広報あいかわ
発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
（役場総務課 T 4
公民館 T 44）

中学校建築の契約を承認

七月定例町議会　九議案を原案可決

町議会七月定例会は七月十七日午前十時から役場会議室で開かれ、会期を三日間ときめ、一日目は町当局から提出議案の説明があり、二日目には活発な一般質問が行なわれ、三日目の十九日は町当局から提出された九議案をいずれも原案どおり可決した。

七月定例町議会へ上程された議案とその内容は次のとおりである。

❶専決処分事項の報告（都市計画債が年度末ぎりぎりに確定されたので町債を起し、起債の方法、利息の定率および償還方法とこれにともなって昭和三十五年度歳入更正予算を地方自治法の規定により専決処分したので報告して議会の承認を求めるもの）

❷併用林道の申請（町道李岱～羽根山線の李岱から羽根山部落入口までの一、〇一八㍍、幅員四、五㍍を併用林道に編入するよう合川営林署長をつうじ秋田営林局長へ申請するもの）

❸予算外義務負担の承認（秋田県農業振興資金融通制度要綱および県畜産振興資金融通制度要綱による町内四農協の負担行為について地方自治法によって議会の議決をもとめるもの）

❹合川町町税賦課徴収条例の一部改正（地方税法の改正によって三十六年度から適用される部分の改正）

❺国民健康保険条例の一部改正（国民皆保険のしゅ旨により被保険者の範囲を拡大しようとするもの）

❻町立合川北小学校附属建物の改築（宿直室、衞生室、便所などの改築）

❼固定資産評価審査委員の選任（任期満了の米倉由五郎氏＝上杉＝を再任しようとするもの）

❽合川中学校校舎第一期工事請負契約締結の承認（契約者株式会社伊藤組と六百八十一万円で契約したもの）

「一般質問の――要旨とその回答――」

問　阿仁川原で大がかりな砂利採取が行なわれており、河床の変化などによって災害発生のおそれがあるが、対策を考えているか。

答　砂利採取については土木事務所に申入れをしたが、河川災害には支障ないといっている。河川管理についての市町村の権限は限られているので今後町村の意見が反映するよう制度を改正するよう働きかけたい。

問　畜産振興について乳牛導入の利子補給をしないか。また子牛育成所の設置計画はないか。

答　乳牛導入の利子補給はしない方針である。また共同放牧場は明年度において国庫補助をうけて設置するよう運動したい。

問　農協の合併を促進することを考えていないか。

答　農協統合は町村単位の統合が理想的かどうか異論があるので、組合員の関心が高まるのを待つべきだと考える。

問　上小阿仁～鷹巣線県道の積寒道路指定と、橋梁の架替はどうなっているか。

答　三里橋は今年度下部構造、明年度は上部構造と二カ年で完成することになっている。

鎌沢橋は明年度の着工はむずかしい情勢だが、実現を期して運動をつづけたい。

問　羽根山併用林道と小規模貯木場の設置はどうか。

答　羽根山併用林道は申請しているので近く着工されることになるもようであり、将来貯木場の設置も考えていきたい。

問　河川、橋梁の災害について復旧対策はおこなわれているか。

答　河川災害は年々増大しているので、地域開発計画の指定を受けて工事を促進したいと考えている。

問　公開質問状に対して回答がなされているか。

答　公開質問状に対しては、広報を通じて町民一般に回答している。

阿仁合線開通から二十七年間したしまれた私達にとってはたち切れない愛着があり、すべての諸物資に割高の運賃が加算され、生産コスト高のため市場においてはいちじるしく不利となりまた輸入する諸物資、資材も割高となって町民生活に大きな圧迫を加えることになり、経済発展におよぼす影響は大きく、県道堂川～合川～鷹巣線の整備も着々進み、一方国有林産物の搬出も軌道から車道に切り替えられる方向にあって、合川駅の貨物取扱いはますます増大するもので、その停止については商工業、農業団体など町内各界こぞって反対であり、強力な存続陳情が展開されることになった。

畠山町長談「八月九日町内業者や上小阿仁村の有志と陳情し、本年度は貨物扱い廃止を実施しないと回答を得たが、今後の動向は予断を許さないものがあるので、その対策をたてるとともに、町内及び上小阿仁村の業界の進むべき産業、殊に木材産業の加工化対策、さらに広葉樹利用対策等の積極的な生産体系を確立する話し合いを進めたい」

合川中いよいよ着工

1期工事　11月末まで完成

町道中央線ぞいに建築されることになっている合川中学校建築地の地鎮祭が、七日午後二時から現場で関係者多数参列して厳かに行なわれ、待望の合川中学校建築がいよいよ着工のはこびとなった。なお、工事は既報のとおり、第一期工事（普通教室一棟二八六坪）は伊藤組（大館市）の手によって十一月末日までに完成されることになっている。

（写真は厳かな地鎮祭）

町有林の育成めざし

下刈り作業すすむ

町では、町有林や学校部分林の下刈り作業をいま急ピッチで進めている。

この作業は、町の基本財産造成計画にもとづき、町の将来の財政基盤をつくるための年次計画によって行なわれているもので、二班に編成された下刈り作業員たちは炎天下の夏山で懸命の作業を続けているが、長年手入れが不完全であったので思い切った徹底的な手入れをすることになっている。

なお、今年の実施計画と作業の進行状況は次のとおり

▼町有林

個所　植林（反）下刈（反）

大内沢　七〇　九〇

芦沢　四二六　二六六

▼学校部分林

金沢（東小中）三〇　三〇

羽根山（西中）一五　二三

大内沢（南中）六六　六六

羽根山（東小中）一　一一八

芦沢（北小中）一　三九

同（北小）四　一

羽根山（西小）一　二

孫七沢（南小）一　一六

計　六一一　六五〇

▼実施進捗状況

下刈りは現在計画の七〇％行なわれ、八月末までは完了の予定。

補植は十月一ぱい、造林は十一月末までにおわる予定である。

（註＝計画の植林面積には補植も含まれる）

（写真は急ピッチの下刈り）

当駅の貨物停止か

町で強力な存続陳情

国鉄の合理化と企業の近代化のため、合川駅の貨物取り扱いが廃止になるかもしれない、ということで町では合川駅を貨物取扱い駅として存続してほしいと秋田鉄道管理局に陳情を行なった。

国鉄では経営合理化五カ年計画によって、貨物取扱いの集中駅を設定し、貨物取扱いの近代化を図ろうとしており、合川駅における貨物の取扱いは停止され、鷹巣駅に集約化されることになるもので、昭和九年秋、

萩形ダムの対策

小阿仁川水系農業用水　対策委員会設置

小阿仁川上流の萩形ダム建設によってゆうりょされる諸問題の対策を講ずる小阿仁川水系農業用水対策委員会が設置された。

この会の構成は町当局一人、町議会八人、農協七人、農業委員会四人、農業共済組合二人、小阿仁川水系関係土地改良区および部落代表二三人の四十五人の委員からなり、七月二十日委員会を開き今後の対策を協議したところ、

❶小阿仁川の流水調査と農業用水需給について

❷河床の変せん調査

❸えん堤の整備強化について

❹電気揚水への切換え検討

❺区画整理にともなう水路再配分のこと

❻ダム建設による冷害妥策について

❼以上の目的を達成するための陳情、諸願などの方針を決定した。

萩形ダムの建設によって予想される問題点は、電源開発の目的からダムの貯水を南秋田郡馬場目川に分水した場合、

▽渇水期においても農業用水の十分な確保ができるかどうか。

▽小阿仁川河床に変化が生じないか、河床に変化があった場合、えん堤からの取水が困難になるのではないか。

▽ダムの深底部からの放水によって水温が低下し冷害が発生しないか。

▽集中豪雨によってダムがある故に大水害を受けた地方があるというがどうか。

などがあげられ、この委員会の今後の活動には重大な意義と任務があるわけである。

各小学校増改築工事

斎藤建設（駅前）に落札

東小学校ステージ新設工事、南小学校便所移転工事、北小学校増改築工事および北小学校々舎一部（約五〇坪）を処分する入札が去る七月二十二日午後二時から役場会議室で行なわれたところいずれも斎藤建設（駅前＝斎藤慶助）に次のような結果で落札になり、いまその工事が進められている。

◇東小学校ステージ新設工事

工事費＝二十三万円

竣工期間＝八月二十日

◇南小学校便所移転工事

工事費＝二十一万五千円

竣工期限＝八月二十日

◇北小学校々舎増改築工事

工事費＝七十二万円

竣工期限＝八月三十一日

◇北小学校々舎の一部（約五十坪）処分

価格＝十六万五千円

町政メモ

7月16日　消防幹部会

17日　町議会七月定例会

18日　町議会二日目、第五回家畜共進会

19日　町議会七月定例会おわる

20日　小阿仁川水系農業用水対策委員会

22日　福祉大学、東、北、南小増改築工事入札

23日　福祉大学修了式

30日　大野咲後援会結成式

31日　例月監査委員会、生ワクチン投与はじまる

8月1日　学校建築区画設定

2日　酪農連盟協議会、教育委員会

3日　実践班長会議

7日　酪農組合役員会、商工会役員会、合川中学校建築地鎮祭

8日　月例出納検査

知っていますか消防信号

種別	打鐘信号	余いん防止付サイレン信号
火災信号	近火信号　消防屯所から約八〇〇米以内のとき	●▷●<●●●●（連点）　約三秒　●▷●<●●●●（約二秒（短声連点））
火災信号	出場信号　署所団出場区域内	●●●●●●●●（三点）
火災信号	応援信号　署所団特命応援出場のとき	●●●●●●●●●●（二点）
火災信号	報知信号　出場区域外の火災を認知したとき	●●●●●●●●（一点）
火災信号	鎮火信号	●●●●●●●●●●●●●●●●（一点と二点との班打）
山林火災信号	出場信号　署所団出場域内	●●●●●●●●●●●●●●●●（三点と二点との班打）　同右　●▷●<●●●●　約五秒　約二秒
山林火災信号	応援信号　署所団特命応援出場のとき	同右　●▷●<●●●●　約六秒

営農に大きな比重

第五回 家畜共進会おわる

ことしの町家畜共進会は、七月十八日東中学校グランドで行なわれ、各部門の入賞三七点が表彰された。

回を重ねること五回「われこそ」と出陳した乳牛、役牛、豚など八六点、どれもこれも優劣をつけがたいものばかり、長時間にわたり慎重審査の結果、次のとおり入賞がきまり、それぞれ表彰を受けた。

審査長の講評によると「年々管理がよくなり改良されているが、全般的に言えることは、運動不足がめだっている」とのことであるが充実した内容をもった共進会は、乳牛役牛豚などの飼育が農業経営に大きな比重をしめすものといえよう。

【乳牛の部】

▽未経産牛

一等＝小笠原　武（増　沢）
二等＝阿部幸次郎（桃　栄）
　　加藤　七雄（桃　栄）
三等＝山田　幸男（桃　栄）
　　後藤　与七（下　杉）
　　鈴木　一男（福　田）
　　中島　弘治（弥　栄）

▽経産牛

一等＝桜井　元三（梅　栄）
二等＝小野　義雄（木戸石）
　　阿部　隆雄（桃　栄）
三等＝木村　栄治（弥　栄）
　　佐藤仙之助（木戸石）
　　石戸忠一郎（川　井）
　　佐藤　清治（桃　栄）
　　疋田　要造（上　杉）

【役牛】

▽成牛

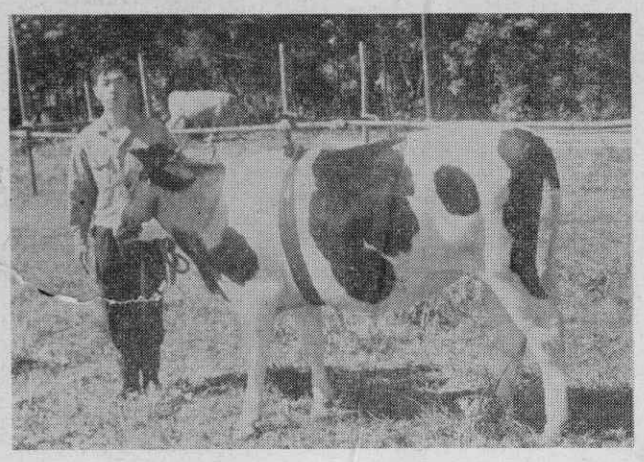
一等＝工藤東之二（上　杉）
二等＝佐藤　昌明（川　井）
三等＝木村　吉郎（下　杉）
　　成田吉之助（大内沢）
　　土濃塚寿太郎（芹沢）
　　関　仁一郎（道　城）
　　畠山　鶴松（同　）

▽犢

一等＝佐藤　専治（川　井）
二等＝後藤　常雄（梅　栄）
　　安部　邦富（増　沢）
三等＝松橋　兵吉（大内沢）
　　工藤　佐吉（上　杉）
　　金田　清助（西根田）
　　米倉　甚逸（上　杉）
　　吉田　長吉（川　井）

【養豚の部】

一等＝木村　由雄（李　岱）
二等＝成田　与助（同　）
　　木村　由雄（同　）
三等＝平川　栄一（同　）
　　米倉甚治郎（上　杉）



（写真は一等賞小笠原さんと第三協酪号）

みちのく早苗振大会 地区予選

8・15 西校舎で開く

第八回みちのく早苗振大会秋田県北地区予選が来る十五日正午から合川中学校西校舎で行なわれます。

NHK秋田放送局、各農協連合会主催のもとに東北地方の民謡の正しい育成と併せて農民の楽しいレクリエーションとして盛りたてようとするものである。

参加種目は

❶民謡＝（昔から東北地方で唄われているもので、合格者は県大会に出場する）

❷謡曲＝（NHKにおいて録音放送を行なう）

❸民俗舞踊＝（地区予選で審査を行なわない）

三部にわかれ、参加資格は予選実施地区内（県北二市三郡）に居住するもの。ただし民謡の部は一六歳以上でなければならない。

この地区大会で合格した人たちは九月三日秋田市で開かれる秋田県大会へ出場することになり、盛会が予想されている。

生ワクの無料投与

1歳～9歳 小児マヒ予防

全国的大流行によって子どを持つ親たちを心配させた小児マヒも、厚生省の本格的な予防対策が効をそうし発生がようやく下降線をたどっている。

本町でも、国県の対策にもとづいて七月三十一日から八月三日までの四日間、合川病院において生ワクチンの無料投与を行なった。

この生ワクチン投与の該当者は生後三カ月以上から小学校入学前のお子さんたちで、当町の該当者は約千六百人です。

このたびの生ワクチンはボンボン型（固型）と三型混合液シロップの二種で、ボンボンは五歳から六歳、シロップは零歳から四歳までの子どもたちに投与された。

この生ワクチンをこれで行なってきたソークワクチン（ポリオ接種）に比べると、ソークワクチンでは第一回接種から第三回目を終るまで一年かかり、効果の持続期間が八～九カ月ですが、生ワクチンは投与してから二週間おいて一年六カ月から二年間効果が持続されます。

なお、さきの投与のとき発熱、下痢や罹病前後などのため投与延期された子どもたちのため八月八日合川病院で投与を行なったが、さらに投与を延期された子どもたちについては保健所と連絡をとりながら改めて投与することになっている。

これまで行なってきたソークワクチンの接種は引き続き行ない、次回は九月早々実施の計画である

（写真＝生ワクチンをのむ子どもたち）

大野咲後援会が発足

化粧褌一流をおくる

わが郷土初の関取十両大野咲関の後援会が三十日結成された。

去る五月十両に昇進した大野咲関の後援会を結成しようというので、畠山町長、工藤上大野製材社長、米倉木材興業社長、秋田土建北林専務などが発起人となって広く町内有志に呼びかけ資金の調達にあたっていたが、七月三十日午後二時から役場会議室に関係者三十余名参加して大野咲合川後援会発会式が行なわれた。

この会には大野咲関も山形地方の巡業からかけつけ、「みなさんには種々ご心配ご後援をいただき感謝いたします。来場所はまたもんのご期待にそうよう頑張ります」とあいさつがあり、畠山会長は「郷土のためさらに健闘してほしい」と激励の言葉をおくった。

なお、後援会の役員をきめるとともに八月一日大相撲鷹巣準本場所において化粧褌一流を贈呈した。

◇大野咲後援会役員

会　長　畠山義郎
副会長　工藤文之助、米倉甚逸、奈良愛之助
顧　問　北林照助、桜井敏男、中村弘、片桐謙郎、松橋由於
幹　事　杉淵武一郎、永井耕三、庄司博、松橋長太郎
世話人　斎藤慶助、岡登、佐藤伊右衛門、山岡義美、沢藤勇太郎、藤島幸一、村岡春蔵、木村喜太郎、斎藤孝蔵、坂上三蔵、杉淵宗次、金田市蔵、西村哲郎、桜田竜治、安部倉之助、成田安茂、杉淵新一郎、奈良二郎、鈴木平一

合川中二回戦で惜敗

全県中学球籠

八月五、六日秋田市で開かれた全県中学校総合体育大会バスケットボールへ郡代表として出場した合川中学校チーム（男子）は、一回戦では雄勝代表の稲庭中を35対22でかろく破り二回戦へ進んだが強豪大曲中と対戦前半リードしながら42対31で破れた。

戦績は次のとおり

▽一回戦

合川 35（20－10、15－12）22 稲庭

▽二回戦

大曲 42（15－13、27－18）31 合川

（おれも一番）

つっぱって，つっぱって，イガクリ頭の豆力士たち，わが郷土が生んだ大野咲関めがけて体当り，今度はおれも一番。

【写真＝中学校生徒へ相撲の手ほどきする大野咲関，31日東中グランドにて】

安全な花火の遊びは

みんなの理解と指導

七夕まつりからお盆にかけ各地で花火大会が開かれ、子どもたちの花火遊びも盛んに行なわれる季節であるしかし楽しい花火あそびもちょっとした不注意から思わぬ事故を引き起すことがありますので、みんなの理解によって安全に遊べるよう指導にあたることが大切である。

これまでの事故原因などから安全な花火の遊びには次のことがらに十分注意する必要がある。

◉花火を買うときはよくあげ方をきいて買うこと

◉「打ち上げ花火」や「筒花火」は空地や広場でみんな楽しくあげるよう

◉「紙玉」はピストルやカンツブシで一発ずつ使いなかの火薬をはぎとったりしないで使うこと

◉マッチを持ち出しかくれて花火遊びはやらないよう

◉「紙玉」などの火薬を何枚もまとめてビンやそのほかの入れものに入れてロケット遊びなどはやめよう

◇良い遊び方

乱玉＝中程から下を正しく持っている。

音物＝火がついたらすぐ手からはなすこと。

打ち上げ＝倒れないよう真直に立てること。火がついたら二米ぐらい離れること。

◇危険な遊び

乱玉＝筒を横向きにして筒底に手指をかけている。

音物＝火のついたものを持っていてはいけません。

打ち上げ＝つけた火がきえても上からのぞかないこと。

奈良さん知事表彰

全県社福大会

本町民生児童委員奈良愛之助氏（七歳、増沢）は、七月二十五日ホテル鷹巣町で開かれた秋田県社会福祉大会で民生児童委員功労者として知事表彰をうけた奈良さんは昭和二十二年から民生児童委員となり、合川町の発足以来民生委員協議会の総務となって町福祉事業のあたってきたものである。

現在町社会福祉協議会副会長、町監査委員、増沢部落代表なども務めている。

国体旗リレー

10月3日に本町を通過

十月八日から本県で開かれる第十六回国民体育大会の大会旗リレー全日程がきまり、合川町は十月三日午後二時すぎ通過することになった。

国体大会旗を前回の開催地熊本市から今年の開催地秋田市八橋陸上競技場までリレーして、この大会の意義と走ることになって、国民体育大会に参加した喜びをあたえようとするもの。

遠藤正雄氏

北小学校長

病気療養中のところ、三日午後二時弘前大学病院で死去された。享年四十八才。

氏は鹿角郡小坂町出身、昭和八年三月秋田師範卒業のあと鹿角郡内各小学校教諭をつとめ、花輪小学校教頭から三十五年四月本町北小校長に転じて現在に至ったもの。遺族はキミ未亡人と二男一女があ

あとがき

まだ暑い夏の盛りと思っていても、八月八日はこよみのうで「立秋」だ。

ここ二、三日朝夕のすじしさは本当に秋を思わせるものがある。

×

お盆が過ぎると、二百十日がやってくる。

今年の稲作はいまのところ豊作だと報道されているが台風シーズンを過ぎなければ何んとも云えないのではないか。

×

気象庁の長期予報によると丁度二百二十日にあたる九月一日ごろ台風の発生するおそれがあるといっておりその対策がのぞまれる。

×

子どもを持つ親たちを心配させた小児マヒも生ワクチンの投与が終ってホット一息、それにしても患者が発生しないことは何よりだわけです。

広報係　松橋主事補

慶弔だより

自　七月一日
至　三十一日

出生（十二人）

疋田幸子、上杉、要造、孫
伊東　毅、下杉、勇、長男
東海林徹、川井、富治、孫
東海林靖、川井、富治、孫
高橋敏幸、木戸石吉雄三男
成田和穂、李岱豊一、二男
成田公子、李岱、長吉長女
伊藤輝美、杉山田慶助二女
中田信一、鎌沢、勇吉長男
三浦誠、三木田、米司長男
桜田みゆき東根田助吉二女
金森秀明西根田菊次郎長男

死亡（十人）

松橋ミヤ、道城、耕二、妻
佐藤トワ、川井、与助、妻
藤島忠市、木戸石忠助二男
藤岡ミエ、羽立、権十郎母
安部サタ、新田目、運吉母
福田サエ、鎌沢、キワ、母
岸田清助、鎌沢、孝一、父
三浦金五郎、三木田、本人
三浦喜平、三木田喜蔵長男
金田スミ、西根田喜栄門母